

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	環境啓発推進事業			シート番号	A 一般事務事業
担当部署名	環境	局	環境都市推進	部	環境政策
				課	評価責任者(課長名)
					坂本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の環境文化の創造	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成24年度から堺市ごみ減量マスコットキャラクター「ムーやん」の活動を開始、平成25年度には着ぐるみの貸出やイラストの利用を開始し、特に若年層を対象に出前講座等を通じて情報発信を行ってきた。平成27年度には堺市環境マスコットキャラクターとして、ごみ減量以外も含めた環境全般の情報発信を行うこととし、twitterの運用を開始した。平成29年度には環境問題を考えるきっかけづくりのため、LINEスタンプを発売している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体		
			<input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市環境マスコットキャラクター「ムーやん」を活用し、着ぐるみやイラストの利用、twitterでのつぶやきやLINEスタンプの作成を通して、本市の環境施策の広報を市民向けに発信するとともに、様々な環境問題等への市民意識の向上を図る。		
9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	イラストや着ぐるみの活用およびtwitterによる情報発信、LINEスタンプによる啓発のほか、以下の内容を実施する。 ・ムーやんイラストの作成 これまで使用していたムーやんのイラストをリニューアルし、ポーズの数を増やすことで今まで以上の啓発を図る。 ・ムーやんフォトコンテストの開催 様々なカタチでムーやんの写った写真を募集し、コンテストを行うことで、環境意識の向上を図る。 ・ムーやん着ぐるみのリフレッシュ 着ぐるみを年1回クリーニングし、なるべく快適に使用しつつ、長持ちさせる。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()			
		委託業者			

Ⅲ. 投入量

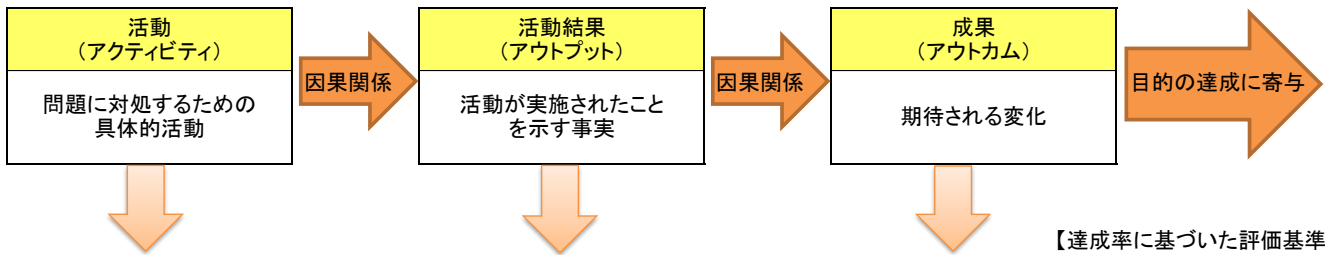
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算
11 事業費 (a)	千円	0	0	878	5,419
主な事業費内訳	需用費	千円		171	645
	委託料等	千円		707	4,774
		千円			
		千円			
		千円			
財源内訳	国・府支出金	千円			
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円			
	市債	千円			
	その他()	千円			
	一般財源	千円		878	5,419
12 人件費 (b)	千円	0	0	2,150	5,410
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	3,028	10,829

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	環境啓発推進事業	シート番号	10-46
-------	----------	-------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14 イベントにおける着ぐるみ活用、チラシやポスター等へのイラスト掲載、twitterでの情報発信などマスコットキャラクターを活用した情報発信を行うとともに、市民団体等が実施するイベント等にイラスト使用許可や着ぐるみ貸出し等を行った。また、新規イラスト作成やLINEスタンプの販売を行うとともに、SDGsの達成に資する活動においてもイラスト使用・着ぐるみ貸出しが可能なように要領改正を行い、情報発信の拡充した。twitterでのツイート数は目標を達成しており、フォロワー数(累積)は目標未達であるが増加傾向にある。							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		twitterでのツイート数(累積)	回	目標値			1,393	1,722
				実績値			1,514	
				達成率			109%	
	評価				良い			
	算出方法・設定根拠など		1552回(令和元年5月22日現在)、1営業日1回ツイート(残り208日、208回増)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		twitterフォロワー数(累積)	人	目標値			1,278	1,364
				実績値			1,113	
				達成率			87%	
	評価				普通			
	算出方法・設定根拠など		1129人(令和元年5月22日現在)、経過月数48か月、月平均23.5人×残り10か月=235人増					

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	ツイート数は、環境局内に照会を行いイベントや講座実施等の案内を集約するとともに、日常の中で取り組める環境の取組などについてもツイートすることで、目標を達成することができた。フォロワー数は目標達成できなかったが、達成率も87%と高く、増加傾向にあるので、このまま運営して問題ないと考える。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。